

中央アルプス：恵那山

- ◆日程 2021年11月21日(日)
- ◆メンバー L: OT
- ◆天候 曇時々晴

西へのマイカー遠征ハイク二日目は中央アルプス最南部の恵那山。ここへは当初御嶽山とセットでの遠征を考えたが、御嶽山の入山規制開始に間に合わず流れた。伊吹山の往復に立ち寄れるので今回の計画となった。

駐車場で一人よく眠り、そろそろ5時というところで周囲に続々と車が到着する気配。今日は天気が下り坂とは言え、明るくなってから歩くつもりなのでゆっくりと出発準備。車外に出て空を見上げると雲で覆われている。急変はなさそうだが、急いでも眺望は期待できそうもない。駐車場から広河原登山口までは林道歩き。ここで渡渉すべきところ、うっかり行き過ぎてしまった。急いでコースに復帰、樹林帯の急登が始まる。時々見える景色は上に行くほどガスが濃くなっている様子。天候悪化には早い。寒気が掛かり始めている様子だ。これでは今回も眺望は難しいかな。と考えながら黙々と登り続ける。1500メートル付近でダケカンバと笹に覆われた尾根に出ると冷たい風が通るようになり残雪が見え始めた。1700メートル付近の樹林帯からは踏み固められた残雪が凍結して滑り易い状況。急いでも晴れ間は期待できない反面、のんびりし過ぎても天候悪化に見舞われそうでペース配分が悩ましい。そうこうするうちに山頂。ガスで展望ゼロ。人気も少なく静かだ。まずはこの先の最高点に行ってみる。最高点への途中にはいくつもの神社の祠、それに立派なトイレと避難小屋。トイレの壁には、恵那山の由来と言



われる伝説の説明あり。「天照大神がここで降誕され、その胞衣(えな)がこの山に埋められた」とか。また、稜線の一角にある神坂峠は日本武尊も越えたとの言い伝えがあるなど、古くから開かれた山だそう。エネルギー補給して山頂に戻ると、途中で追い抜いた団体を始め多くの登山者で密状態。眺望もないので長居は無用とばかり下山開始。降りる程に天気が回復して太陽が見え始め、上の方のガスも薄くなったように見える。名残惜しいが、南アルプス方面や中央アルプス北部方面も雲が掛かって見えないし(写真下)、天候悪化前に下山完了する

のが賢明だと自分に言い聞かせながら登山口に戻る。近くの日帰り温泉で汗を流し、勿論バツジもゲットして帰途に就いた。今回も気楽な単独行を満喫できた。(記: OT)

CT: 広河原登山口駐車場 6:20 - 広河原登山口 7:05 - 恵那山 9:10/9:25 - 最高点・避難小屋前 9:35/10:00 - 広河原登山口 12:00 - 駐車場 12:25 = (車) = 自宅